

みなさんNSTをご存知ですか？



NSTとはNutrition Support Teamの略称で患者さんの栄養状態の把握と栄養支援を実施することにより、

栄養状態や全身状態の改善や傷の治りを早めることに役に立つことを目的として、医師、歯科医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士（嚥下リハビリ）、医療事務などの多職種が協力して、より安全かつ有効な栄養療法を行うための医療チームのことです。

活動内容

1. 栄養評価によって栄養管理の必要性を判定し、最も適切な栄養管理法の提案を行う。
2. 栄養リスクのある患者さんは各病棟のNSTが介入し適切な栄養管理計画書を作成する。
3. 高度栄養リスクのある患者さんは全体カンファレンス、回診を週1回行い、再評価し計画を修正する。全体会議を月1回開催し、活動の報告を行い、その問題点や今後の方針について話し合う。

カンファレンスと病棟回診

週1回の病棟回診とカンファレンスを行い、患者さんの栄養状態の改善を目的とした栄養治療実施計画を作成し、患者さんと一緒に達成できるようにサポートしています。例えば経腸栄養剤の変更や排便コントロール、免疫力の維持や傷の治り、栄養改善のための食事内容や薬剤、栄養補助食品の提案などを行っています。

院内研修会

より多くの患者さんの栄養管理がうまく行われるように、栄養サポートに関する院内研修会を開催し職員の知識向上に取り組んでいます。

日下 浩二（消化器外科医長）

NSTにおける言語聴覚士の役割

誤嚥のリスクがある患者さんに対して摂食嚥下機能評価を行うことは誤嚥性肺炎を防ぐためや、栄養ルートを選択に重要です。1. 摂食・嚥下機能評価 2. 摂食・嚥下機能回復のための訓練 3. 口腔、咽喉頭器官の機能回復 4. コミュニケーション機能の評価と訓練などを行っています。

徳永栄養管理室長さんから一言

NSTは、患者さんの栄養状態を多職種の様々な視点で考え、食事や点滴などの提案をします。口から食べるだけでなく、静脈栄養、経腸栄養などの栄養全般に関することや、体調を整えるための栄養の素材の提供も行っています。「栄養」や食事、あるいは食品に関することであれば何でもご相談ください。

